

2007年10月25日

いすゞ 大型トラック『ギガ』シリーズに先進予防安全テクノロジーを追加
～国内初、衝突被害軽減ブレーキとスタビリティコントロールシステムを同時装着～

いすゞ自動車株式会社（社長：細井行、以下いすゞ）は、大型トラック『ギガ』シリーズに衝突の被害を軽減する「プリクラッシュブレーキ」と横滑りや横転を抑制する「IESC」を搭載し10月25日より全国一斉に発売します。

車両重量の重い大型トラックは、事故が発生した際には、周囲に甚大な被害をもたらすケースがあります。大型トラックには事故や事故の被害を低減するために、さらなる安全対策が求められています。

いすゞはトラックによる事故ゼロを目指して、予防安全技術の研究を続けてきました。今回、その成果の一つとして、先行車との衝突が不可避な状況において衝突被害の軽減を図る「プリクラッシュブレーキ」を新開発。先進視覚サポート技術「VAT」の新たな機能としてオプション追加しました。また、高速走行が主体のカーゴ系主力車型と危険物運搬のローリ系車型に、国内で初めて電子式車両姿勢制御システム「IESC」を同時装着。大型商用車における世界最高水準の安全性能を提供します。

プリクラッシュブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）

プリクラッシュブレーキは、独自開発したミリ波レーダーの検知アルゴリズムを更に進化させ、先行停止車両の検知を実現。追突の危険が迫った場合、まずは警報音で注意を喚起し、ドライバーにブレーキ操作を促します。さらにドライバーがブレーキ操作を行わず、追突もしくは追突する可能性が高いと車両が判断した場合には、自動でブレーキをかけ、衝突時の速度を低く抑え、衝突被害を軽減します。

*国土交通省の「前方障害物衝突軽減制動装置の技術指針」に対応しています。

新開発 プリクラッシュブレーキ

プリクラッシュブレーキは、先行車や渋滞末尾等の停止車両への接近に対し警告を発し、ドライバーに危険回避を促します。さらに、追突が避けられない場合は、自動ブレーキで衝突速度を低減し、被害の軽減を図ります。

ドライバーが前走車や停止車両に気づかず、追突の危険が高まった場合、警告音でドライバーに回避を促します。

車両が追突、または追突の可能性が高いと判断した場合、自動的にブレーキを作動させ、衝突速度を低減します。

追突が避けられない場合の被害軽減に貢献

電子制御式車両姿勢制御システム IESC

IESC は、ドライバーの操作状況や車両の挙動をセンサーで検知、不安定な車両姿勢と判断される場合、警報を発するとともに、エンジンや左右前後独立したブレーキを自動で制御し、車両姿勢を修正。横転や滑りやすい路面での横滑りなどの抑制に効果を発揮します。

新開発 IESC

横滑り

●IESC非装着車

横転

●IESC非装着車

IESC装着車

コーナー時に車両姿勢が不安定になったり、車両にかかる横Gが一定レベルを超えた場合、警報を発するとともに、エンジンや左右前後独立したブレーキ制御により、安定した車両姿勢を保ちます。

安定した車両姿勢を維持し
横滑りや横転等の危険回避に貢献

【目標販売台数】

ギガプリクラッシュブレーキ搭載車 500台/年

【ギガ プリクラッシュブレーキ東京地区希望小売価格】

	オプション価格	
	消費税抜き	消費税込み
プリクラッシュブレーキ&IESC	600,000 円	630,000 円

※ 車両によっては IESC が同時装着できない場合があります、プリクラッシュブレーキ単体での装着となります。この場合の販売価格は 550,000 円（税抜）/577,500 円（税込み）です。

「プリクラッシュブレーキ」「IESC」は、ドライバーの安全運転を支援するシステムであり、車両の限界を超えた走行を可能にするものではありません。本装置を過信せず、つねに安全運転を心がけてください。

以上